

平成29年度 鈴鹿市立愛宕小学校 教育方針

めざす子どもの姿

- (1)他人の気持ちが考えられ、誰に対しても優しくできる子。(2)基本的な学習内容を十分理解している子。(3)あいさつがしっかりできる子。
 (4)授業規律、集団生活のルールが守れる子。(5)何事にも(掃除や活動など)根気強く、本気で取り組める子。(6)自分の思いを言葉で伝えられる子。(7)感謝の気持ちを持てる子。

学校教育目標

「主体的に学び、主体的に考え行動できる児童の育成」

めざす学校像

「子ども同士がつながり合い、優しさと笑顔があふれる学校」
 「保護者や地域に信頼され、ともに創り上げる学校」

- ①児童が安心し、安全に楽しく学べる学校
- ②確かな学力・体力の育成を目指し、主体的に学ぶ学習を大切にしたい学校
- ③思いやりと感謝の気持ちを持ち、自主的に関わる子を育てる学校

学校の重要な視点・方針

- ・全員参加の授業、主体的な学び、きめ細やかな指導で、子どもを変える授業改善を全職員で取り組む。
- ・子どもたちが活躍する機会を増やし、自尊感情を高めるとともにつながりのある子どもを育てる。
- ・集団生活のルールを守り、自分自身を律して粘り強く行動できる子どもを育てる。
- ・子どもの思いを聞き、寄り添える教員集団をめざす。(いじめ、学力保障等)
- ・学校組織の一員としての自覚を持ち、資質向上を目指す組織的な教師集団をめざす。
- ・学校運営協議会が中心となり、地域・保護者・学校が協働して子どもを育成する。
- ・学校の抱える教育課題に保護者も巻き込み意識改革を図る。(発信、協働、講演)

めざす家庭の姿

「けじめのある生活を心がけ、温かい対話で絆を深める家庭」

めざす地域の姿

「つながり(絆)がある地域、思いやりのある地域」

	家庭	地域
学力向上推進部	○子どもを認め、子どものチャレンジを応援する家庭 ○家庭学習を定着させる 《協働》親子で参加、楽しく活動。共に学び、子どもたちを褒めて育てよう。自分を大切にする子。	1.読み聞かせの充実で人の話を聞く力を育む。(ボランティア) 2.様々な体験学習を通じて、人や物の大切さを学ぶ。
人権・生活力向上推進部	○生活リズムを整え、あいさつと対話のある家庭 《協働》あいさつが響く小学校。子どもの安全をみんなで守る。(交通ルール、ヘルメット、メディア・スマホの危険)	1.自主的に挨拶ができる力を育てる。 2.登下校時に見守り指導する。 3.人の気持ちを思いやる心や感謝の心を育てる。(人権標語の活用)
健康体力向上推進部	○食育・運動を通じて子どもの健康・体力を育む家庭 《協働》仲間遊び、運動の場をつくる。	1.スポーツを通じ、精神・体力の向上 2.放課後の子どもの居場所の設定
地域の絆情報発信部	○愛宕の街を大切に思い、地域とつながる家庭 《協働》学校・子どもたちの様子を地域に発信し相互理解を深める。	1.CS情報の発信(全ての人々がCSの理解) 2.地域社会の貢献 3.ボランティア人材の確保 4.子どもボランティアの育成 5.人権標語自治会掲示依頼 6.学校・家庭・地域が情報の共有化(メール活用)

10の重点行動

1 確かな学力の育成

- ①授業力向上 ②基礎基本、活用力の向上 ③言語活動の重視 ④家庭学習の充実 ⑤キャリア教育の充実 ⑥習熟度別・少人数指導

2 人権文化の確立

- ①偏見や差別を許さない心情、実践力の育成 ②子ども同士がつながりあう仲間づくり ③子ども主体の場面作りと自尊感情の育成 ④保護者・地域への啓発・研修 ⑤道徳教育の充実

3 学習規律・生活規律の確立

- ①チャイム席 ②あいさつ ③掃除 ④トイレのスリッパ ⑤家庭と協力した規範意識の向上 ⑥毅然とした指導体制の確立

4 全職員の資質向上

- ①課題に応じた講師招聘 ②企画会議の充実 ③組織的な若手教職員の育成 ④OJT研修

5 体力・運動能力の向上

- ①健康教育の充実 ②苦手意識を解消する教科体育や体育的行事の充実

6 開かれた学校づくり

- ①学校運営協議会の充実 ②地域との連携強化 ③情報発信の拡充(回覧・掲示) ④保護者向け講座の開催 ⑤地域行事への参画

7 評価を生かした学校経営

- ①保護者、児童、関係者、教員の評価の実施と分析、検証による改善活動

8 災害対策の充実

- ①地震、津波対応訓練の実施 ②防災教育の充実

9 生き生きとした職場づくり

- ①総勤務時間の縮減 ②月1回定時退勤デー ③組織的な対応と業務の平準化 ④まとまりのある職員集団

10 安全・安心な教育環境

- ①危機管理意識の向上 ②地域との連携 ③危機予測能力の育成

I 学力保障

【授業改善, 授業研究】

- 算数科の授業研究を通して, 自ら考え自ら学ぼうとする力, 子どもに身に付けさせたい力(話す力, 説明する力, 書く力など)を育てていきます。
- 学習の定着率をあげるため, 授業での振り返り活動を充実させます。
- 「子どもにつけたい力」を共有し, 向上させるための工夫・アイデアを提案する授業研究を行います。
- 子どもを学年, 学校のみで見守り, 指導していきます。計画的な交換授業や合同授業を実施します。
- 〇〇JT研修を充実させていきます。

評価指標	現状値	目標値
児童アンケート「友だちの前で自分の考えや意見を発表している」	66.3%	80%以上
児童アンケート「話をしている人の方をしっかりと見て, 反応しながら最後まで集中して聞いている」	76.6%	80%以上

【基礎基本の定着】

- 授業の「ねらい」と「振り返り」を明確にします。
- 「朝学の時間」の使い方を検討します。(内容・使い方の工夫)
- 学校全体の取組として漢字・計算練習を徹底します。(プリント教材の充実・活用)
- 少人数学習, 補充学習を計画的に取り入れます。(夕方教室・月曜6限の活用)
- 「ほめること」を全ての学級での基本に据えていきます。

【少人数指導】【学習ボランティアさんの学習支援】

- 算数科の少人数授業を推進します。少人数教室の環境整備をします(机・いすなど)。
- ニーズに合わせて, 学習支援ボランティアの人数拡大を図ります。
- 夕方教室(放課後の学習の場)の充実・増員を図ります。
- 学校ホームページボランティアを募集します。

評価指標	現状値	目標値
学習支援ボランティアの登録人数	33人	40人

【C・Sの取り組み】

- 各学年の地域と連携した学習(田植え, 餅つき, 野菜の栽培, 地域学習, 昔の話, 遊びの学習など)のゲストティーチャー

【読書活動】

- 教師読み聞かせを継続します。
- 本の内容も考えさせ, 色々な種類, 長文にも取り組ませます。
- 図書館まつりを年2回実施(前期・後期)します。
- 貸し出し冊数50冊以上(低学年)
- 高学年は, どんな種類のどんな内容の本を読んでほしいかを伝え, 各自目標冊数を決めさせます。(参考程度の目安となる冊数を提示する。)

評価指標	現状値	目標値
図書室の本貸出冊数年間(低学年)	冊/1人	50冊/1人

【C・Sの取り組み】読み聞かせ活動の充実 図書館整備 夏休みの図書館開放

【キャリア教育・食育・環境教育】

- キャリア教育の目標を設定し, 年間計画を整理・見直しを行います。
- キャリア教育の視点を持って授業や活動を進めていきます。
- 年間計画で年に2~3回の食育の授業を行います。
- 年間計画に残量調査を設定し, 年間通じての調査を行います。
- 環境を大切にしている取り組みとして, 給食残量無し・消灯・節水に取り組みます。

評価指標	現状値	目標値
おかずの残量なしのクラスが平均	13.8クラス	13クラス以上

【C・Sの取り組み】・家庭教育学級「給食試食会」 ・土曜授業として海岸清掃参加

平成29年度 愛宕小アクションプラン

【家庭学習】

- 家庭学習の内容を学校である程度統一する。(保護者がわかりやすい。)
- 自主学習の取り組みに関して, 今後検討する。

評価指標	現状値	目標値
児童アンケート「宿題や家での勉強に, 自分から進んで取り組んでいる。」で「はい」	45.0%	60%
児童アンケート「家で勉強する時間は, 1日どのくらいですか。」低学年30分, 中学年45分, 高学年60分以上	低77.8% 中70.2% 高45.6%	80%
家庭学習の提出率	—	10割

【体力向上】

- 児童に外遊びを勧め, 教師も一緒に遊ぶ機会を増やします。
- 体育委員会主催の「あたごアスレチック」を年2回程度実施します。
- 社会体育指導者と連携し, スポーツ教室を実施します。
- 体育の授業で「めあて」を明確にし, 目的意識を持った授業を進め, 振り返り活動も充分に行います。
- 各学年の系統性を配慮した単元授業構成を考えます。

評価指標	現状値	目標値
児童アンケート「運動が好き」	86.1%	90%以上

【C・Sの取組み】・プール清掃 ・プール開放 ・愛宕地区「みんなのラジオ体操会」
・わくわく体験ニュースポーツ(土曜学習)・愛宕校区スポレク祭(PTA合同)

III 人権教育

【人権教育】

- 自尊感情を高めるために,
 - 子どもの活躍できる場を作っていきます。(子ども主体の行事, 授業)
 - いろんな場でほめます。(子ども同士でほめ合う, 教師がほめる, 当たり前のもほめる)
- 子ども同士をつなぐ仲間作りをするために
 - 異学年の活動を続けていきます。遊びだけでなく, 子ども同士が関わる活動をします。遊びも子ども同士がつながれる遊びを意図的に行います。
 - 学期はじめに「ここにノート」をするなど, 全校で取り組みます。
- 思いやりの心を育てるために
 - 道徳の授業・・・冊子を使って学年で同じ題材で授業をします。
 - 友達を呼び捨てにしない。相手を傷つける言動を許さない。

【多文化共生教育】

- 多文化共生児童集会を開催します。

評価指標	現状値	目標値
児童アンケート「いじめを見たり, 聞いたときやめようと言ったり誰かに伝えたりすることができる」で, 「はい」	50.4%	60%
保護者アンケート「人に優しく温かい気持ちで接している」	93.1%	95%以上

【C・Sの取組み】「人権標語コンクール」→人権看板設置, 人権カレンダー作成

IV 特別支援教育

- 指導計画を基にしたケース会議を行います。
- 毎学期, 指導計画を立て, 見直しをします。
- 特別支援教育の全体研修を行う。
 - スクールカウンセラーによる講座, ユニバーサルデザインについての勉強会など。
- 年度初めに年間計画を立てます。特別支援教育の全体研修会を, 年間計画に位置付けます。

II 生徒指導

【基本的生活習慣】

- 時間で行動することを意識させるため, 5月以降, 水曜日にノーチャイムデーを設定して取り組みます。
- スリッパについては業間・昼休みの終わりに見回ります。
- 教師が手本となり, 積極的にあいさつを行います。
- 委員会活動でノーチャイムデー, あいさつ, スリッパ, ろうか走りなどに取り組みます。

【いじめ防止】

- いじめ防止連絡会議の充実を図ります。(2回)
- 学年間で情報を密に協議し, 小さいことでも早い対応にしています。
- 何でも言える学級作りに取り組んでいます。
- 道徳教育の充実を図り, 心の教育に全職員で取り組みます。
- 児童個々の悩みや不安を見抜き, 学年で話し合いを密にします。
- 児童会活動の充実を図ります。

【学校事故防止】

- 委員会活動を通して休み時間に廊下を見回ります。
- 月に1回, 「廊下見守り週間」を設定し, 教師が休み時間に交代で廊下に立ちます。
- 廊下下りの危険性を児童に周知し, 20分休みは外遊びをするよう声かけします。

【健康教育】

- 年3回のノーマディア週間を行います。(昨年度同様)
- 手洗い・うがいを意識付ける働きかけを, 委員会活動を通して行います。

【学校美化】

- 掃除前に役割分担, 目標をしっかりと示します。掃除の内容や, 早く終わった時に何をやるのかを具体的に示します。掃除後に反省活動を行います。また, 整備委員が掃除の成果をチェックする活動に取り組みます。

【校外生活】

- 継続して各種教室を開催します。
- 交通安全教室を実施し, 2,5年生は乗り方指導, 他学年は危険予測学習を行います。

評価指標	現状値	目標値
児童アンケート「困ったこと, 心配なこと, 悩んでいることがあれば, 親や先生に相談していますか。」	75.1%	90%以上
児童アンケート「ゲームなどのメディア3時間以上」	11.3%	8%以下
児童アンケート「教室をすみずみまできれいにしている」で「はい」	45.3%	60%
「あいさつをよくしている」	児童82% 保護者78.9% 地域86.7%	児童90% 保護者・地域85%以上
児童アンケート「ヘルメットを着用している」	90.2%	100%

【C・Sの取組み】スマイル運動・「救急法講習会」・遊具のペンキ塗り・全員奉仕作業・全会員による「安全安心パトロール」・安全安心部「交通安全指導」・あんしんマップ作成・子どもを守る家・あんしんパトロール隊・青色回転灯パトロール・「交通安全教室」・民生委員「あいさつ運動」・学校保健委員会3回開催

V 安全教育, 開かれた学校づくり

- 【危機管理】① 通学路の安全点検を年度当初に職員が行います。② 年4回の避難訓練を実施します。(防災ノートの活用) ③ 下校指導と一斉下校を, 月一回程度実施。
- 【地域連携】① 学校評価アンケート内容を再考します。② 土曜授業の日に保護者・地域向け「子育て講座」を開きます。③ 三者が協働する課題別チーム会議を開催します。

評価指標	現状値	目標値
保護者・地域アンケート「学校は安全安心な学校づくりに努めている」	保護者90.4% 地域93.3%	95%
児童アンケート「地震・津波, 火災の時, 避難する方法を知っている」	89.1%	100%

【C・Sの取組み】「防災教室」「減災教育」PTA父親学級「夜の学校探検」PTAバザー 広報あたご発行(年3回) 「灯りのフェスティバル」「LIVE IN 愛宕」

VI 生き生きとした職場づくり

- 勤務時間縮減に向けた会議を設置し, 少しずつでも実行に結び付けていきます。
- 月1回の定時退勤デーを設定します。
- 組織的な対応と, 業務の平準化を図ります。
- 「一人で抱え込まない」ままとりのある職員集団をつくります。
- 笑顔のあふれる職員室をつくります。